

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2)	利用者を想定して、傾聴・外出ボランティアを募集し、個別支援を充実する取り組みや、利用者子どもたちとの交流の機会を設けるなどの取り組みを期待したい。	①ボランティアに来てもらい、散歩を一緒にしてもらおう。 ②子供たちが、施設へ来る機会を作り、ご利用者と交流を持ってもらう。	①観音寺社会福祉協議会へ声をかけ、近くのボランティアを募集する。また、くもん学習療法の支援員も募集する。 ②近くの少林寺拳法の道場へ声を掛け、ボランティアに来てもらう。また、夏祭りなど、施設行事に子供会に声をかけ、来てもらう。	12カ月
2	4(3)	個別対応のボランティアの参加や子どもとの交流、地域全体の徘徊対策等の協議を期待したい。	同上	同上	12カ月
3	35(13)	近所の方の協力が得られているが、大規模震災への具体的な対応の検討、近隣施設との協力関係構築や停電を想定した訓練、職員各自の災害対策の向上を期待したい。	①近隣施設と大規模災害時の協議が出来る環境を作る ②災害訓練をより実践的なものにレベルアップする。	①運営推進会議を通して、災害時の協議ができるよう相談をする。また、隣の施設とも交流を試みる。 ②災害訓練に、伝言ダイヤルの使い方や備蓄に関する検討など、職員を巻き込んで検討をする。	12カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)